

慶大生による携帯音楽再生機を使った「まち歩き音声ガイド」収録の実験は二十一日、金沢市の片町や堅町などの商店街で行われた。視覚障害者や車いす利用者も参加して点字ブロックや歩道の段差などの情報を吹き込み、「耳で聞く案内地図」の使い心地を体感した。

参加したのは県内の障害者や健常者でつくる「ほほえみの会」と視覚障害者グループ「ぴあサポート」。実験では録音機を持った第一グループがラブリ片町前から金沢21世紀美術館までの

・慶大生と視覚障害者ら

「耳で聞く地図」収録

音声ガイドの収録を行う参加者
—金沢市内



コースで音声ガイドの収録を行い、第二グループが録音された音声ガイドに従って街を歩いた。

弱視で実験に参加した津田孝司さん(六四)は「音やにおいなどの情報も盛り込めば、視覚障害者にも利用しやすくなると思う」と話した。

市中心商店街